を抱いた記事が掲示されている 正面玄関付近には、 生徒たちが関心

(与論

していく。

白男川冴子教 「深みのある

> 徒が関心を持った記事を 年。正面玄関近くに、

テーマ別に掲示して

持ちを考えながら文字に

象者を設定し、

状況や気

実践校に指定されて3

新聞記事を参考に取材対 事の執筆に取り組んだ。

> るきっかけにもなったよ 評で、将来について考え

目的に、インタビュー記 力と想像力を養うことを

2016年度は、

ビュー

した。生徒からは

「知識が広がった」と好

与論中学校

諭(27)は、

文章が書けるようにな

5

「鹿児島県」

た」と評価する。

実践編として、昨年12

ど7項目。

2年の原田直

ERO (ヒーロー

参考に

輝北小学校 (鹿屋市)

め

表現 意見まと 養

を考えて線を引いたり、

5年生

南風録を題材にした学習に取り組む

の会での発表などに新聞

えたいことを示した文章 見をまとめるほか、 記事を活用している。 生の授業は、鹿児島マラ のある記事を一人一人選 んで感想を発表する。 に南風録が教材。 八は朗読後、 3月14日にあった5年 南風録を読んで意 読み取る力を養う 興味

などを使って下学年にも

7年度は、「子供のうた」

実践校1年目。201

き入れる。

長災の被災者を取り上げ ノンに参加した東日本大 書き手が伝 児童20

(年齢・肩書

カご

6

実践校

児島市と結び、さまざま

な職種の人たちにインタ

う」と話す。

(緒方隆

を選ぶ上でも役立ちそ

いろな情報があり、

帆さんは「新聞にはいろ

テムを活用して学校と鹿 月からはテレビ会議シス

は取材当時

5、6年生の宿題や朝

保護者や教師も感想を書 国語辞典で調べたりし 分からない言葉の意味を トに意見を書き込み、 宿題としてワークシ

担当の吉本里香教諭(41 取り組みを広げる予定。 「ニュースに興味を持 自分の考えをまとめ

た」と手応えを実感した。 られる児童が増えてき

福盛三南美